

高等学校 令和7年度（3学年用）教科 水産 科目 小型船舶

教科：水産

科目：小型船舶

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年B組

教科担当：今西・伊藤・片桐・網谷

使用教科書：（小型船舶操縦士上級Ⅰ・Ⅱ、小型船舶実技教本）

教科 水産 の目標：

- 【知識及び技術】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 小型船舶 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
小型船舶の安全活適切な操船について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	小型船舶の安全かつ適切な操船に関する課題を発見し、漁業生産など海上業務に従事する者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	小型船舶の安全かつ適切な操船や漁業生産への活用を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期	1. 小型船舶の操縦Ⅰ 【知識及び技術】 小型船舶の操縦について理解するとともに、小型船舶の運航の安全を確保するための基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 小型船舶の安全な運航の確保に関する課題を発見し、基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 小型船舶の操縦について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組む。	1. 操縦Ⅰ 【エムポート・平船】 基本操縦 (1) 安全確認 (2) 発進・直進・停止 (3) 後進 (4) 変針・旋回 (5) 蛇行（連続旋回） 応用操縦 (1) 離岸・着岸 (2) 人命救助 (3) アンカーリング	【知識・技術】 小型船舶の操縦について理解するとともに、小型船舶の運航の安全を確保するための基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 小型船舶の安全な運航の確保に関する課題を発見し、基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術に着目して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小型船舶の操縦について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	実技試験			○	○	○	1
	2. 小型船舶の操縦Ⅱ 【知識及び技術】 小型船舶（特殊）の操縦について理解するとともに、小型船舶の運航の安全を確保するための基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 小型船舶（特殊）の安全な運航の確保に関する課題を発見し、基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 小型船舶（特殊）の操縦について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組む。	2. 操縦Ⅱ 【特殊小型船舶 海洋Ⅰ・Ⅱ】 基本操縦 (1) 安全確認 (2) 発進・直進・停止 (3) 後進 (4) 変針・旋回 (5) 蛇行（連続旋回） 応用操縦 (1) 離岸・着岸 (2) 人命救助	【知識・技術】 小型船舶の操縦について理解するとともに、小型船舶の運航の安全を確保するための基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 小型船舶の安全な運航の確保に関する課題を発見し、基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術に着目して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小型船舶の操縦について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	実技試験			○	○	○	1
	2. 小型船舶の操縦Ⅱ 【知識及び技術】 小型船舶（漁船）の操縦について理解するとともに、小型船舶の運航の安全を確保するための基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 小型船舶（漁船）の安全な運航の確保に関する課題を発見し、基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 小型船舶（漁船）の操縦について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組む。	2. 操縦Ⅱ 【りゅうおうⅡ】 基本操縦 (1) 安全確認 (2) 発進・直進・停止 (3) 後進 (4) 変針・旋回 (5) 蛇行（連続旋回） 応用操縦 (1) 引縄操船	【知識・技術】 小型船舶の操縦について理解するとともに、小型船舶の運航の安全を確保するための基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 小型船舶の安全な運航の確保に関する課題を発見し、基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術に着目して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小型船舶の操縦について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	4. 運航 【知識及び技術】 小型船舶の運航について理解するとともに、関連する知識・技術を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 小型船舶の安全な運航の確保に関する課題を発見し、安全かつ適切な運航に与える影響に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 小型船舶の運航について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組む。	4. 運航 (1) 航海計画	【知識・技術】 小型船舶の運航について理解するとともに、関連する知識・技術を身に着けている。 【思考・判断・表現】 小型船舶の安全な運航の確保に関する課題を発見し、安全かつ適切な運航に与える影響に着目して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小型船舶の運航について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

3 学 期	4. 運航 【知識及び技術】 小型船舶の運航について理解するとともに、関連する知識・技術を身に着ける。 【思考力・判断力・表現力等】 小型船舶の安全な運航の確保に関する課題を発見し、安全かつ適切な運航に与える影響に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 小型船舶の運航について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組む。	4. 運航 (2) 設備及び装備品 (3) 気象・海象 (4) 荒天航法・海難防止	【知識・技術】 小型船舶の運航について理解するとともに、関連する知識・技術を身に着けている。 【思考・判断・表現】 小型船舶の安全な運航の確保に関する課題を発見し、安全かつ適切な運航に与える影響に着目して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小型船舶の運航について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	3. 機関（上級） 【知識及び技術】 小型船舶の機関について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 小型船舶の機関に関する課題を発見し、機関の保守整備や機関故障時の対処の方法に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 機関の保守整備について自ら学び、機関の正しい取扱いや機関故障時の対処に主体的かつ協働的に取り組む。	3. 機関（上級） (1) 機関の取扱い (2) 機関の保守整備 (3) 機関故障時の対応	【知識・技術】 小型船舶の機関について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 小型船舶の機関に関する課題を発見し、機関の保守整備や機関故障時の対処の方法に着目して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機関の保守整備について自ら学び、機関の正しい取扱いや機関故障時の対処に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	6. 航海計画 【知識及び技術】 航海計画の立案及び船位測定、海図作業などの知識・技術を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 航海計画を通して安全な運航の確保に関する課題を発見し、基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 航海計画について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組む。	6. 航海計画 (1) 海図による船位・針路・距離の求め方 (2) 水路誌・ヨットینگチャート等による調査 (3) レーダーによる船位・針路・距離の測定・確認	【知識・技術】 航海計画の立案及び船位測定、海図作業などの知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 航海計画を通して安全な運航の確保に関する課題を発見し、基本的な操船技術及び状況に応じた操船技術に着目して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 航海計画について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
							合計
							70